

令和3年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（全体）

## 関市地域公共交通活性化協議会

平成21年 3月21日設置

平成29年 3月 関市公共交通網形成計画  
(計画期間：平成29年4月～令和3年3月)

令和 2年 6月26日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"><li>・乗降調査を実施、利用実態を把握した上で市街地路線が再編されたことを評価します。</li><li>・新たな公共交通の方法として、自動運転技術の実証実験が行われたことを評価します。</li><li>・これまでの網形成計画での取組の評価、課題を整理した上で、新地域公共交通計画の策定に向け協議されることを期待します。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・新地域公共交通計画の策定に向け、各種調査を実施し、公共交通の利用実態やニーズの把握・分析を行い、網形成計画での取組の評価や課題を整理した上で、新地域公共交通計画（案）を作成しました。なお、令和3年度第2回関市公共交通活性化協議会において、当該計画（案）の内容を確認しました。</li></ul>	<p>新地域公共交通計画策定後は、当該計画の基本方針を実現するために設定した目標の達成状況を評価指標により確認し、事業実施による効果検証、路線ごとの課題とその改善策の検討を実施します。</p> <p>その一端として、計画策定時の調査で得た市民要望等を参考に、昨年度実施した再編路線（関板取線）のダイヤを4月より一部改正し、利便性を向上させます。</p>

**地域の特性**

- ・ 岐阜県の中心部に位置  
V字型 472.33km<sup>2</sup>  
長良川鉄道が市の中心部を南北に運行
- ・ 市内移動の大部分をバスで担う

**公共交通計画名及び期間**

「関市地域公共交通網形成計画」  
(平成29年度～令和3年度)

**網計画で目指す公共交通の将来像**

**ずっと暮らし続けられる関市を支える  
地域公共交通ネットワークの構築**

**方針1**

高校生が公共交通で通学できるサービスの提供

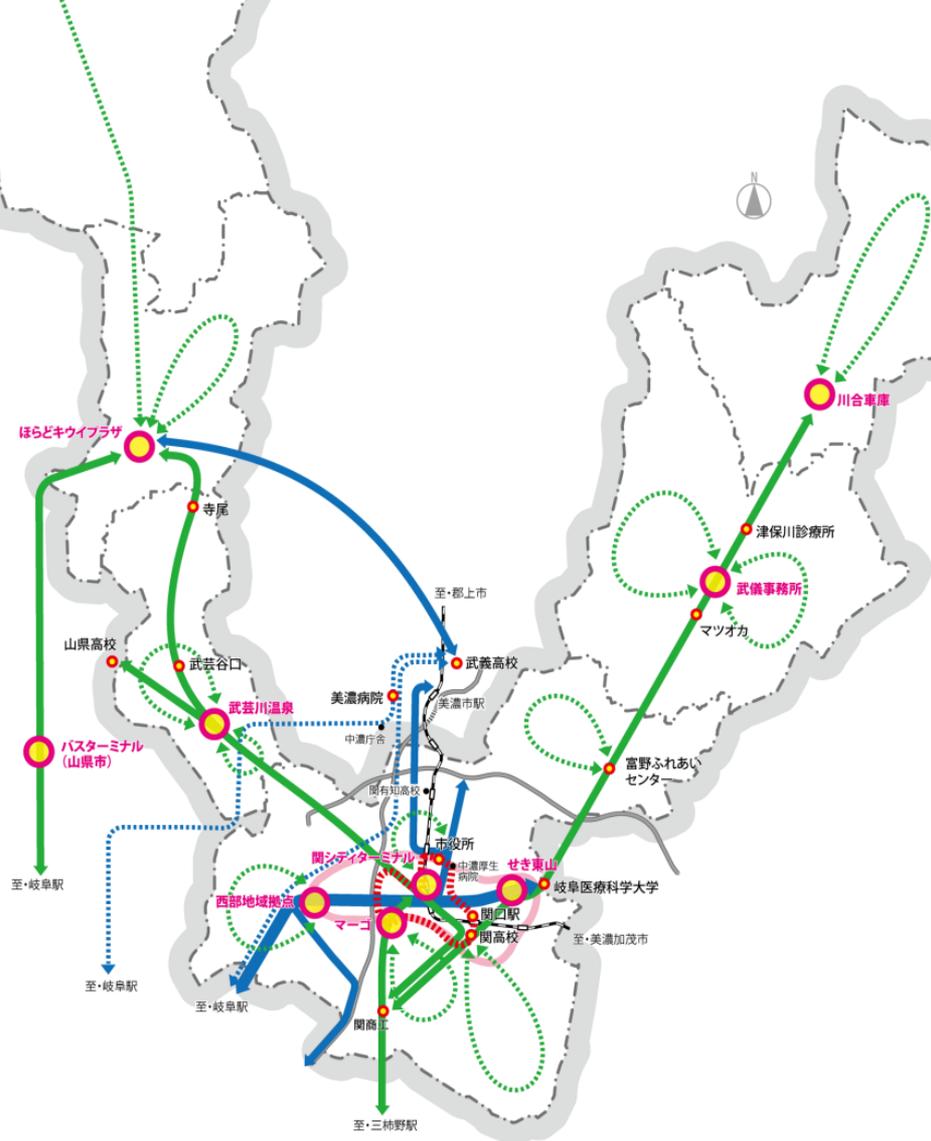
**方針2**

高齢者が公共交通で日常的な生活ができるサービスの提供

**方針3**

より多くの人を使いやすい公共交通サービスの提供

地域公共交通ネットワークのイメージ図



**目標1** 地域住民のニーズを踏まえ、まちづくり連携した公共交通ネットワークの形成

**1-5 バス・鉄道の連携強化**

- ・関シティバスと鉄道を乗り継ぐ場合、市内在住の高校生のバス料金免除（平成30年4月～）

令和2年度 件数21件 申請者5人  
 令和3年度 件数11件 申請者5人  
 （～11月末）

**目標2** 気軽に利用でき持続可能な公共交通の実現

**2-3 学生通学支援補助制度の導入**

- ・高速名古屋線の通学定期乗車券購入に対して1カ月あたり5,000円補助（平成29年4月～）

令和2年度 申請者41人 補助金額740,000円  
 令和3年度 申請者73人 補助金額845,000円  
 （～11月末）

**2-4 高齢者運転免許証自主返納促進事業の導入**

- ・運転免許証を自主返納された市内在住の高齢者などに対し、関シティバスの料金が3年間無料になる乗車証を交付（令和2年4月～）

令和2年度 申請数124件 利用回数1,440回  
 令和3年度 申請数54件 利用回数2,883回  
 （～11月末）

**目標3** わかりやすく乗って楽しい公共交通づくり

**3-2 路線バスの旅「企画乗車券」の導入**

- ・岐阜バスと連携し、路線バスが年末年始6日間乗り放題になる乗車券と関牛乳サブレをセットにしたお得なきっぷの発売を企画し、販売を開始

利用可能期間  
 2020年12月29日～2021年1月3日の計6日間

対象路線  
 岐阜バス全路線（※）、岐阜線、岐阜板取線、関板取線、関上之保線  
※対象外路線：高速乗合バス、イオンモール各務原線、快速イオンモール各務原線、牧谷線、市町村自主運行バス

発売箇所  
 岐阜バスターミナル、岐阜バス各営業所・各旅行センター

問い合わせ 岐阜バスターミナル TEL: 058-266-8822 岐阜バス

**3-4 イベント装飾バスの実施**

- ・バスへの親しみやその利用促進を目的に、市内の園児が内装をクリスマス仕様に装飾するイベントを開催し、そのバスを市内で運行





## 自己評価

関市公共交通活性化協議会

令和4年1月13日(木)

評価指標	目標値	実績値	結果	考察
【指標①】 市街地における1日あたりのバス乗降人数(人/日)	1,300人/日以上	685人/日	未達成	路線再編により乗降人数が増加したが、その後はコロナによる外出自粛が続き、コロナ前の乗降人数を取り戻せていない。
【指標②】 公共交通の維持に必要な市民1人あたりの年間負担額(円/年)	3,900円/年以下	5,326円/年	未達成	運賃収入の減少に加え、市街地路線の協定単価の増額により、運行経費が増加し、年間負担額が増加した。
【指標③】 人口1人あたりのすべての公共交通の年間利用回数(回/人)	12.0回/人以上	7.9回/人	未達成	全交通モードにおいて利用者が減少している。他者との接触を避けるため、外出自粛や家族による送迎、マイカーへの転換が働いたと考える。
【指標④】 人口1人あたりの地域内バスの年間利用回数(回/人)	5.0回/人以上	3.6回/人	未達成	全地域で利用回数が減少しており、意見交換会で高齢者から不要不急の外出を控えているという声が多く、バスから家族による送迎に移行している。板取地域については、観光客も減少している。
【参考】 市民の満足度向上(%)	満足 11.2%以上 不満足 50.8%以下	満足 13.1% 不満足 30.8%	達成	路線再編や学生通学支援補助などで利便性が向上し、利用促進の効果が反映されたものと考え。今後もバス停要望などで改善を図りたい。

路線別評価

※全体評価は、①利用者数と④収支率の基準値に対する平均達成率（デマンド系は①と②の対前年比較）により判定

路線	①利用者数 (人/日)				②1便あたり利用者数 (人/便)				③利用者1人あたりの補助額 (円/人)				④収支率(参考) (%)			全体評価	
	基準値	R02	R03	評価	基準値	R02	R03	評価	基準値	R02	R03	評価	基準値	R02	R03		
定時定路線	関板取線★	138.0	119.3	119.3	未達成 →	10.0	10.0	10.0	達成 →	1,000	913	1,071	未達成 ↓	15.0	11.4	10.4	C
	関上之保線	122.0	78.8	73.9	未達成 ↓	9.0	5.2	4.8	未達成 ↓		2,055	2,177	未達成 ↓		6.2	5.6	C
	買い物循環線	62.0	96.2	120.5	達成 ↑	5.0	6.5	6.0	達成 ↓		821	837	達成 ↓		9.9	9.7	A
	小金田線★	50.0	32.6	31.2	未達成 ↓	8.0	6.6	6.2	未達成 ↓		1,406	1,741	未達成 ↓		4.9	4.5	C
	千疋線★	43.0	14.2	10.5	未達成 ↓	7.0	2.9	2.1	未達成 ↓		2,218	2,971	未達成 ↓		3.3	2.8	C
デマンドバス	富野線	設定しない	2.2	2.8	- ↑	2.0	1.2	1.4	未達成 ↑	設定しない	6,343	6,364	- ↓	設定しない	2.7	3.1	A
	田原線		2.8	5.1	- ↑	3.0	1.7	2.3	未達成 ↑		3,345	2,507	- ↑		2.7	2.9	A
	迫間線		9.6	9.5	- ↓	2.0	2.1	2.0	達成 ↓		2,659	2,751	- ↓		2.7	2.7	B
	向山線		10.0	9.0	- ↓	3.0	2.3	2.0	未達成 ↓		2,963	2,642	- ↑		2.7	2.2	B
デマンドタクシー	下有知地区	設定しない	7.7	5.5	- ↓	1.5	1.3	0.9	未達成 ↓	設定しない	1,854	2,099	- ↓	15.0	12.1	11.0	B
	瀬尻・広見地区		1.6	3.4	- ↑	1.5	1.1	1.8	達成 ↑		2,490	2,652	- ↓		9.8	8.5	A

★国庫補助対象路線

路線名	評価	考察
関板取線★	C	利用者数は、前年比0.2%減。路線再編でのルート延長で新規利用者を確保するも外出自粛の影響で減少。
関上之保線	C	利用者数は、前年比6%減。外出自粛の影響によって武儀・神野地域の定期利用者が減少した。
買い物循環線	A	利用者数は、前年比24%増。路線再編での増便やバス停新設によりコロナ前並みの利用者数に回復した。
小金田線★	C	利用者数は、前年比5%減。バス停新設や買い物需要はあるものの、外出自粛の影響で減少が続いた。
千疋線★	C	利用者数は、前年比21%減。外出自粛の影響による定期利用者離れが顕著に表れ、全路線で最も減少。
デマンドバス	B	利用者数は、前年比2%減。路線再編で新規利用者を確保するも外出自粛の影響で減少した。
デマンドタクシー	B	利用者数は、前年比15%減。車内の狭い空間での乗り合わせを避けるための利用控えにより減少した。

路線別評価に応じた改善を実施

## 公共交通に対する課題を把握するため、各種調査を実施

調査種別	対象路線	調査結果
データ分析	民間路線バス4路線、自主運行バス2路線	平成30年10月～令和元年9月のOD等分析
乗降調査	関シティバス5路線	10/8(金):454人、10/3(日):277人
	長良川鉄道市内6駅	10/8(金):1,181人、10/3(日):368人
アンケート調査	関シティバス全路線	定時定路線(回答数 731票) デマンド路線(回答数 29票)
	長良川鉄道市内6駅	配布数 667票、回答数 102票(回収率:15%)
	市内3高校	回答数 1,076票
ヒアリング調査	商業施設4店舗	回答数 平日:194票、休日:195票
意見交換会	中山間部4地域、関市街地部5地区	地域住民の意見集約

## 調査結果概要

- ・買い物循環線は、商業施設を発着地とする利用が多く、幅広い年齢層に利用されている
- ・支線系統は、買い物や通院目的とする利用が多く、利用者は高齢者が多い
- ・幹線系統は、**通勤通学を目的とする利用が多く、利用者は学生が多い**
- ・感染症拡大により**外出の機会が減少**している
- ・市外への移動先は、山県市や美濃市、美濃加茂市が多く、運転免許証を持たない定期利用者はいるものの、大多数の人は車を使って移動している
- ・市民には、**免許返納後の公共交通利用を検討**する人がいる
- ・**人口は減少傾向**にあるが、**公共交通にかかる公的負担額が増加**している

## 【通学における公共交通に対する考え】

- ・自転車や家族による送迎で通学している高校生が7割以上を占めている
- ・運賃支払やダイヤ、乗継、清算などに不安を感じている
- ・公共交通を利用する高校生から、鉄道運賃、ダイヤ、便数、ルート、バス待ち環境に対して改善を求める声がある



新計画に反映

評価指標		現計画目標達成状況 (達成○、未達成×)					考察	対応方針
		H29	H30	R1	R2	R3		
1	市街地における1日あたりのバス乗降者数	○	○	○	×	×	人口減少、コロナによる外出自粛、家族による送迎やマイカーへの転換など様々な要因が重なって令和2年度から目標達成に至っていない。	市街地におけるバス施設整備の他、コロナ対策やそのPRを行い、より多くの人により使いやすい公共交通を実現する必要がある。
2	公共交通の維持に必要な市民1人あたりの年間負担額	×	×	×	×	×	運賃収入の減少及び運行経費の増加が年々進んでいるため、目標達成できなかった。	今後も運行経費の増加が見込まれるため、利用者の意見や路線ごとの乗降者数を参考にした柔軟な路線の見直しを図るなどしてより効率的・効果的な公共交通を実現し、その維持に努める必要がある。
3	人口1人あたりの公共交通の年間利用回数	○	○	○	×	×	コロナによる外出自粛、家族による送迎やマイカーへの転換など様々な要因が重なって、令和2年度から目標達成に至っていない。	自家用車を運転できない学生や運転免許の自主返納をする高齢者などの利用を取り込み、高頻度利用者に向けて市内を気軽に移動できる割引制度を検討し、観光利用回復に向けた利用促進を図る必要がある。
4	人口1人あたりの地域内バスの年間利用回数	×	×	×	×	×	もともと運転免許証を持っていない定期利用者があるものの、外出自粛や観光客の減少が続き、目標達成に至っていない。	高校生、高齢者及び観光客の利用を確保するだけでなく、地域の状況に応じた運行形態の見直しを図る必要がある。

## 調査結果概要、現計画目標達成状況及び高齢化の進展・コロナ禍等の社会背景の変化を踏まえて残された課題

- 1 地域に住み続けられる移動サービスの提供
- 2 市内を気軽におでかけできる地域公共交通ネットワークの構築
- 3 まちづくりと一体となった持続可能な公共交通体系の構築

これらの課題を踏まえて  
新計画の目標を設定

### 関市公共交通計画（新計画）

- 1 **高校生が公共交通で通学できるサービスの提供**
  - ・若者の流出防止を図る高校生を対象にした事業展開
  - ・通勤通学に加え、ふだんの外出に使いやすい公共交通サービスの提供
- 2 **より多くの人が使いやすい公共交通サービスの提供**
  - ・高齢者をはじめとする市民や観光客が車に過度に頼らない分かりやすい公共交通
- 3 **持続可能な公共交通サービスの確保**
  - ・市民、交通事業者、行政など様々な主体による連携や役割分担

### 利用促進の継続

#### バス停環境の改善 (1-4)

関シティバス待合所や長良川鉄道駅周辺駐輪場を整備し、バス待ち環境や自転車からの乗り継ぎ環境を向上し、公共交通の利用を伸ばす。

#### バスの乗り方教室 (4-4)

運転免許証を所持しており、公共交通をほとんど利用したことがない高齢者を対象にしたバスの乗り方教室を実施する。

#### 利用のきっかけづくり (4-5)

高校に進学する中学3年生や進学を考えている高校生を対象に公共交通を使った通学方法や通学費用、補助制度を載せたチラシを配布する。

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 4年 1月13日 (別添1)

協議会名: 関市公共交通活性化協議会  
 評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(陸上交通における地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②確保維持事業(陸上交通における地域内)	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改善補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
岐阜乗合自動車株式会社	わかさ・小金田線	これまでの事業評価、路線別評価の結果を受け、さらなる利用促進を図った。	A	事業は計画に基づき適切に実施された。	C	津保川台や虹ヶ丘などの団地と、マーゴやベイシアなどの商業施設を結ぶ市民の生活の足として機能している。 新設した「こがねだ診療所」及び「下倉知中」バス停の利用や大型商業施設への買い物による定期利用はあるものの、外出自粛の習慣が長期間に及んだ影響で公共交通の利用離れが進み、路線総利用者数が5%減少した。特に、病院・商業施設・公共施設や津保川台の利用者数の減少率が大きい。 沿線住民の要望を参考にしたバス停の新設の他、コロナ対策で安心して利用してもらえる環境を作り、さらなる利用促進を図る。
岐阜乗合自動車株式会社	わかさ・小金田線 百年公園経由	令和2年10月 「こがねだ診療所」バス停新設 「下倉知中」バス停新設				
岐阜乗合自動車株式会社	わかさ・千疋線 中濃厚生病院～中濃厚生病院	これまでの事業評価、路線別評価の結果を受け、さらなる利用促進を図った。	A	事業は計画に基づき適切に実施された。	C	国道248号線沿いの他、太平台及び千疋などの団地の住民が買い物や通院で利用できる生活の足として機能している。 外出自粛の習慣が長期間に及んだ影響で公共交通の利用離れが顕著に表れ、路線総利用者数が21%減少した。特に、病院・商業施設・公共施設の利用者数の減少率が大きい。 緊急事態宣言解除で公共施設利用自粛等が解除され、令和3年3月から利用者数が回復しつつある。 沿線住民の要望を参考にしたバス停の新設やルート変更の他、コロナ対策を含めたPRを行い、マイカーから公共交通への転換意識を醸成し、さらなる利用促進を図る。
岐阜乗合自動車株式会社	わかさ・千疋線 大平台タウン～中濃厚生病院					
岐阜乗合自動車株式会社	わかさ・千疋線 中濃厚生病院～大平台タウン					
岐阜乗合自動車株式会社	わかさ・千疋線 中濃厚生病院～中濃厚生病院 百年公園経由					
岐阜乗合自動車株式会社	わかさ・千疋線 中濃厚生病院～大平台タウン 百年公園経由					
岐阜乗合自動車株式会社	関板取線 寺尾経由	これまでの事業評価、路線別評価の結果を受け、中学生に対して利用促進を図った。	A	事業は計画に基づき適切に実施された。	C	関高校、山県高校及び美谷学園などへの通学や沿線企業への通勤の利用者が多く、市民の生活の足として定着している。 通勤通学で一定の利用者数を確保しつつ、路線再編によるルートの変更及び延長で新規利用者を取り込むことができたが、外出自粛の習慣が長期間に及んだ影響で公共交通の利用離れが進み、路線総利用者数が0.2%減少した。特に、武芸川地域や市街地の利用者の減少率が大きい。 沿線住民に対し、コロナ対策を含めたPRを行い、マイカーから公共交通への転換意識を醸成し、さらなる利用促進を図る。
岐阜乗合自動車株式会社	関板取線 山県経由					

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4年 1月13日

協議会名:	関市公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業(陸上交通における地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>関市の高齢化率は年々上昇しており、特に中山間地域では、高齢化率が30%を超え、高齢化、過疎化の進展が著しい状況にあります。また、少子化により、通学で公共交通を利用する機会の多い高校の生徒数は、平成12年以降、減少傾向が続いています。</p> <p>このような状況の中、公共交通サービスを維持確保するためには、より多くの市民が公共交通を利用する必要があり、まちづくりと一体となった公共交通の利用促進が求められます。実現するためには、利用しやすい交通体系の構築が必要となり、市民ニーズに応じた生活交通を確保すること目的として、今年度策定する関市地域公共交通計画に基づき、地域公共交通確保維持改善事業に取り組んでいきます。</p>

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和 4年 1月13日

協議会名: 関市地域公共活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	(陸上交通におけ <b>【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】</b>	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
<p>■事業内容</p> <p>①地域内の公共交通に関する現況調査            ②地域住民のニーズ把握            ③関市地域公共交通計画(案)のとりまとめ            ④協議会開催</p> <p>■結果概要</p> <p>①本市の地域特性や既存の公共交通(路線バス、自主運行バス、デマンドバス・タクシー、鉄道)の利用状況を把握するため、乗降調査や利用者アンケート調査を実施し、課題の洗い出しを行った。</p> <p>②①の利用者調査に加え、普段公共交通を利用しない高校生や商業施設来訪者にもアンケート調査を実施し、居住地、外出行動圏、交通手段等を把握することで、市民の移動需要を整理した。</p> <p>③①・②および現計画の取組評価や課題を基に、地域にとって望ましい公共交通の在り方について検討を行い、計画(案)を作成した。</p> <p>④令和3年6月29日の地域公共交通活性化協議会で計画策定スケジュールを報告し、令和3年11月16日に計画(案)の説明、検討を行った。現在パブリックコメントの意見募集を行っており、意見を計画(案)に反映させた後、3月の活性化協議会で最終承認を受ける予定である。</p>	A 事業は適切に実施されている。	<p>■関市地域公共交通計画策定業務</p> <p>■実施時期 交付決定日以降～令和4年3月31日</p> <p>■計画に向けた方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の地域および公共交通の利用状況を把握し、市民の移動ニーズに対応できる効率的な公共交通サービスを実現するための地域公共交通計画を策定する。</li> <li>・新計画は現計画の流れを承継しながら、必要に応じて見直しを図る。</li> <li>・計画策定にあたっては、OD調査、市民向けアンケートや意見交換会で得られた情報・意見を反映させる。</li> </ul>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 4年 1月13日

協議会名:	関市公共交通活性化協議会
-------	--------------

評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業(計画策定事業)
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>人口減少や高齢化社会、運転士不足等、本市の公共交通をとりまく環境は年々厳しさを増している。持続可能な公共交通サービスを確保し、効率的な公共交通体系の構築をすることを目的として、立地適正化計画や都市計画マスタープランなどの関連する計画との整合性を図りながら、地域公共交通計画を策定する。</p> <p>計画策定にあたっては、本市の各地域の状況や、公共交通の利用状況、市民の移動ニーズ等を把握する必要がある。また、現計画の達成状況や問題点を整理することで、課題を見出し、現計画の流れを承継しつつも必要に応じて、見直しを行う。</p>
-----------------------------	---